

# 紙の調査票からの脱却： 市場調査・分析・戦略立案の即時的 シームレス化

人間科学部  
スポーツ健康科学科  
准教授  
福田 拓哉



## 研究シーズの紹介

### 【調査の正確性・即時性を劇的に向上】

従来、スタジアムでのスポーツ観戦者調査は伝統的に紙の質問票を使用していました。最大の問題は回答忘れの項目と時間がかかること。

一方でQRコードを用いた携帯・スマホでの調査も行われてきましたが、こちらは十分な回答数が確保できないという問題が。

そこで、質問紙をタブレット端末に置き換え。そのうえで、現場で調査員が観戦者に直接お声がけするスタイルは維持しました。

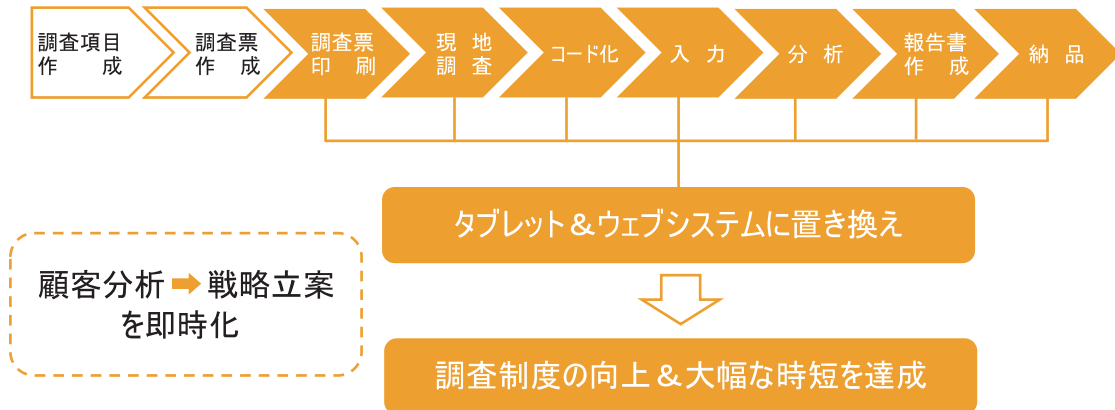
これにより、サンプル数を減らすことなく、回答漏れと分析にかかる時間を55.5%減少させることに成功しました。



### ファクトベースの PDCAシームレス化

- 対面調査の即時的な分析と戦略立案が可能になります。
- 消費者の「旬な情報」を経営に取り入れることができます。

## 従来型質問紙調査のフロー



## 期待される活用シーン

● 顧客体験の場で行動データを取得したいが、分析に時間がかかるのがネック。。。 →



アナログとデジタルを融合することで調査結果の即時的分析が可能になります。 →

スーパー、テーマパーク、スポーツの試合会場、イベント等での効果測定に有効活用できます。

● 紙の調査は面倒なイメージ。自分のスマホが使えるなら協力してもいいけど。。。 →



調査実施者が用意するタブレット、もしくはご自身のスマホを利用できます。 →



### その他の研究テーマ

- ・スポーツの価値創造に関する研究
- ・満員のスタジアムを創り出す研究